

企画展 生物の多様性から学ぶ バイオなものづくり

バイオなものづくりってなに？

生物のからだのデザインや生態からヒントを得たものづくり「バイオミメティクス(生物模倣工学)」が注目されています。ハチの群れからヒントを得た自動車制御技術、ヤモリの手のひらをまねたテープ、生物の一部をまねて効率よくした家電製品など代表的なバイオなものづくりを紹介します。

2015.
9/12~23
(土) (水・祝)

午前9時30分
午後5時
*入館は
午後4時30分まで

理工館地下2階
イベントホール

科学館の
観覧料のみで
ご覧いただけます。
(中学生以下無料)

こんな観察や研究から
ものづくりがはじまりました。

ハチの群れは
おたがいにぶつからない!

ハスの葉で、
水玉コロコロすごーい。

蚊にさされても
痛くない、なぜだろう?

カタツムリは、どうして
泥だらけに
ならないのだろう?

モルフォチョウの羽が
青く輝くのはなぜ?

ネコの舌が、
役に立つ?



イルカの
エコロケーションを
まねると...



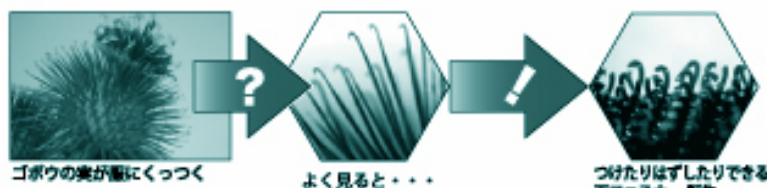
ヤモリはなぜ、
天井から
落ちないのだろう?

毎日いるから、
会いに来てね。



ものづくりのヒントを見つけよう! これがバイオミメティクスの世界

バイオなものづくりは、生物を観察して「あれ??」「どうして?」を見つける事がたいせつ。特にミクロ、ナノサイズの世界は、ヒントがいっぱい。



けんび鏡で、観察してみよう。
けんび鏡で生きものを観察して、「アレ??」をさがそう。電子顕微鏡の実演もあるよ。

電子顕微鏡 実体顕微鏡 生物顕微鏡

セルロース アズビのから 鼻のはね スズビノガ



交通のご案内

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、4・5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車、南へ徒歩約5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車、北へ徒歩5分

観覧料

	展示室とプラネタリウム	展示室のみ
大人	800円	400円
大学生・高校生(要・学生証)	500円	200円
中学生以下は無料です。		



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



芸術と科学の社



名古屋科学研究所

TEL 052-201-4486 FAX 052-203-0788

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号(芸術と科学の社・白川公園内)

http://www.ncsm.city.nagoya.jp/

※本企画展は、菅川科学研究助成による実践研究の一環として行っています。

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。